

就任ご挨拶

国際力の強化と情報基盤の整備

理事兼副学長 櫻木 弘之



有恒会の皆様には、平素より本学の

教育と研究に多大なご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。本年4月、荒川新理事長兼学長の下に発足しました新体制において、理事兼副学長（研究・情報・国際交流担当）を拝命いたしました。言うまでもなく教育と研究は大学に課された最も重要な使命であり、大学の根幹であります。本学は長年にわたる先輩方のご尽力により、多様な分野に有能な教員を擁する伝統ある総合大学として、高度な研究に裏打ちされた教養教育、学部・大学院教育を実践し、多くの有為な卒業生を社会に送

り出してまいりました。平成18年度の法人化以降、運営費交付金の大幅な削減と教員定数の20%削減という厳しい状況下にあっても、金子元理事長兼学長、西澤前理事長兼学長はじめとするこれまでの執行部の方々のご尽力、そして大学教職員一丸となつての献身的な努力により、本学の誇る「高度な研究とそれを基盤とする高度人材育成」という機能の維持・発展が図られて参りました。

研究担当理事・副学長として、これまでに築き上げられてきた本学の研究基盤の更なる強化に向け、全力を傾けて参りたいと考えております。特に、本学の強い研究分野については、戦略的に重点強化し、種々の競争的大型外部資金の獲得にも全学を上げて取り組んでおります。そのために、従来の基盤研究費に加え、学内競争的資金である「戦略的研究経費」の重点的配分を行うと共に、私が本部長を務める研究推進本部の中に、昨年度よりURA (University Research Administrator)

センターが設置され、研究系外部資金の獲得支援、分野横断型・複数機関参加型の競争的資金プロジェクトの企画立案、若手研究者の育成支援等を行っております。女性研究者の研究環境整備についても、男女共同参画やダイバシティの理念の下、その取り組みを全学的に拡大しております。

また、教育、研究両面での国際力の強化と情報基盤の整備も今後の重要な課題です。本学は既に海外の多くの大学・研究機関と包括連携協定等を締結しており、これを基盤に教育・研究上の連携を一層強化するとともに、本学学生の海外留学促進と海外からの留学

生受け入れ体制の整備を進めて参りたいと思います。また、情報革命ともいわれる時代にあつて、研究大学に相応しい情報基盤の整備にも努めてまいります。

これらの取り組みを強力に推進し、本学のプレゼンスを一層高めていく先に、現在、様々な角度から検討が進められております本学と大阪府立大学の統合による新大学のあるべき姿が定まり、真に魅力ある新大学の創設と発展を実現することが可能になるのではないかと思います。今後とも有恒会の皆様方のご支援をよろしくお願い申し上げます。

「大阪学—グローバル視野から見る大阪—」について

大阪市立大学理事兼副学長 井上 徹



日本そして大阪を取り巻く社会情勢は国際化に向けて大きな変貌を遂げつつあり、グローバルに活躍する人間へのニーズが高まっています。そこで、本学では、西澤良記前学長の発案により、平成27年度後期、学長特命科目として、「大阪学—グローバル視野から見る大阪—」（以下、「大阪学」と略称）を開設し、2年間、試行すること